

<資料 4> 学習場面 10 の分類例における 1 人 1 台端末を活用する

ときのポイントと効果

学習場面	活用のポイント	活用の効果	対象実践
A 1 教材の提示	導入で、実態把握のためのアンケートをフォームで行う。	・課題の今の理解度を瞬時に測り、その状態を容易に全体で共有することができる。	高 1 家庭
	スライドで表現するものと、黒板に残すものとを区別して示す。	・授業内容はスライドで、学習目標や手順は黒板で確認することができるので、授業が効率よく進み、学習意欲が向上する。	中 3 音楽
B 1 個に応じる学習	問題にカラー資料を添付したり、自動採点機能を設定したりする。	・学習意欲を高めるとともに、基礎知識の定着を図る。	中 2 社会
	作品に対して、1 人 1 台端末を活用して、各自にコメントを挿入させる。	・各自が同時に、コメントを付けることができ、すぐに付けたコメントを全体で共有することができる。	高 2 国語
	1 人 1 台端末に資料を掲示し、各自のペースで学習させる。	・1 人 1 人が自分の学びを調整しながら学習を進めることができる。	中 1 音楽
	繰り返し学習し、納得のいく動画を撮影させる。	・自己評価に基づき、技能を高めることができる。	中 1 音楽
	教育用プラットフォームを用いて、課題作成、配布、添削、返却を行う。	・配布から返却までの時間が短縮される。 ・提出状況の把握が容易になる。 ・添削の履歴が残り活用することができる。	中 3 英語
	教育用プラットフォームの課題返却における提案モードを使う。	・教師の提案を参考にすることができる ・よりよい英語表現に改善することができる	高 2 英語
B 2 活調査	検索エンジンや翻訳アプリを用いて、調べ学習を行う環境を整える。	・個別学習において学習活動が停滞している場合に、必要な情報を手に入れ、次の学びにつなげることができる。	中 3 英語
B 3 学深め考える	シミュレーションアプリを用いて、作図をしたり、図を変形したりする。	・対象（式やデータ等）を視覚的に表し、理解を深めることができる。 ・パラメーターを変化させることで図の変化を可視化し、特徴を理解することができる。	高 2 数学

学習場面	活用のポイント	活用の効果	対象実践
B4 制表作現	デジタルボードを3分割し、それぞれの部分に表す内容を決め、自分の思考の過程が分かるようにする。	・授業の中でどのように考えが深まったか、思考の過程を可視化することができ、自分の思考を振り返ることができる。	高2 数学
B5 家庭学習	授業で提示した資料を、クラウドに保存する。	・家庭で授業の振り返りや復習、テスト勉強をする際にも、繰り返し活用できる。	中3 音楽
	スライドにリンクを貼るか、リンクのみを伝え情報を共有する。	・動画等の資料を正確に伝えることができ、題材への興味・関心を高め、家庭学習への意欲が向上する。	中3 音楽
C1 話し合いや発表	授業で活用する資料を共有できる状態にする。(クラウドや共有フォルダ)	・各自で発表資料や話し合うための資料を細かい内容まで確認することができる。	高1 家庭
	発表資料を全体で共有した状態で、発表する。	・発表を聞きながら、コメント機能での即時フィードバックが可能となる。	高2 英語
	録画機能を用いて、グループのメンバーと一緒にプレゼンスピーチの録画を行う。	・各自で自分のスピーチを確認し、改善点を見つけ、よりよい表現に修正することができる。 ・グループのメンバーと表現が適切かを互いに確認することができる。	中3 英語
C2 意見整理の協働	視覚的に意見や考えの違いを明確にする。	・カテゴリでの意見の相違が一目で分かり、意見整理をスムーズに行える。	高1 家庭
	デジタルで書き込むフレーム(背景)を工夫し、固定する。	・付箋を移動するだけで、グループの意見を可視化することができる。	中2 社会
	スライドを用いて複数の意見を共有できるように工夫し各自の意見を一覧で見ることができるようにする。	・各自の意見を可視化することで他の意見や考えが一目で分かり、それによりグループでの話し合いが活性化し、意見整理等を容易に行うことができる。	中3 英語
C3 協働制	共同編集機能を用いて、グループのメンバーが同時に作業を行う。	・グループで役割分担し、各自が自分の割り当てられた部分を作成することができる。 ・同時に内容や表現が適切かを互いに確認することができる。	高2 英語
C4 学校の壁を超えた学習	目的に合った交流の場(評価の場)を設定する。	・活動内容を振り返り、達成感を得たり、改善点を見つけたりすることができる。	高2 英語

5つの授業実践を通しての「1人1台端末を活用するときの具体的なポイントと効果」



	活用のポイント	活用の効果	
A1	導入で、実態把握のためのアンケートをフォームで行う。	課題の今の理解度を瞬時に測り、その状態を容易に全体で共有することができる。	高1 家庭
	スライドで表現するものと、黒板に残すものとを区別して示す。	授業内容はスライドで、学習目標や手順は黒板で確認することで、授業が効率よく進み、見通しをもつことができる。	中3 音楽
B1	問題にカラー資料を添付したり、自動採点機能を設定したり、質問機能を用いたりするなど、フォームを活用する。	問題への興味が高まり、取組への意欲が向上し、知識の定着を図ることができる。	中2 社会 中3 音楽
	作品に対して、1人1台端末を活用して、各自でコメントを挿入させる。	各自が同時にコメントを付け、グループ内で共有し、自分のコメントについて考えを深めることができる	高2 国語
	1人1台端末に資料を掲示し、各自のペースで学習させる。	1人1人が自分の学びを調整しながら学習を進めることができる。	中1 音楽
	繰り返し学習し、納得のいく動画を撮影させる。	自己評価に基づき、技能を高めることができる。	中1 音楽

	活用のポイント	活用の効果	
B5	授業で提示した資料を、教育用プラットフォームにアップロードする。	家庭で授業の振り返りや復習がしやすく、テスト勉強をする際にも、繰り返し活用できる。	中3 音楽
	スライドにリンクを貼るか、リンクのみを伝え情報を共有する。	動画等の資料を正確に伝え、題材への興味・関心を高め、家庭学習への意欲を向上させることができる。	中3 音楽
C1	授業で活用する資料を共有できる状態にする。(クラウドや共有フォルダ)	発表資料や話し合いのための資料を、各自が細かい内容まで確認することができる。	高1 家庭
C2	視覚的に意見や考えの違いを明確にする。	カテゴリでの意見の相違が一目で分かり、意見整理をスムーズに行うことができる。	高1 家庭
	デジタルで書き込むフレーム(背景)を工夫し、固定する。	付箋の位置付けにより、グループ内の一人一人の意見の度合いを簡単に可視化することができる。	中2 社会

A1 (教員による教材の提示)

B1 (個に応じる学習)

B5 (家庭学習)

C1 (発表や話し合い) C2 (協働での意見整理)

5つの学習場面における11のポイントと効果

3つの授業実践を通しての「1人1台端末を活用するときの具体的なポイントと効果」



	活用のポイント	活用の効果	
B1	教育用プラットフォームを用いて、課題作成、配布、添削、返却を行う	<ul style="list-style-type: none"> 配布から返却までの時間が短縮される 提出状況の把握が容易になる 添削の履歴が残り活用することができる 	中3 英語
	教育用プラットフォームの課題返却における提案モードを使う	<ul style="list-style-type: none"> 教師の提案を参考にすることができる よりよい英語表現に改善することができる 	高2 英語
B2	検索エンジンや翻訳アプリを用いて、調べ学習を行う環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> 個別学習において学習活動が停滞している場合に、必要な情報を手に入れ、次の学びにつなげることができる。 	中3 英語
B3	シミュレーションアプリを用いて、作図をしたり図を変形したりする	<ul style="list-style-type: none"> 対象（式やデータ等）を視覚的に表し、理解を深めることができる。 パラメーターを変化させることで図の変化を可視化し、特徴を理解することができる。 	高2 数学
B4	デジタルボードを3分割し、それぞれの部分に表す内容を決め、自分の思考の過程が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中でどのように考えが深まったか思考の過程を可視化することができ、自分の思考を振り返ることができる。 	高2 数学

	活用のポイント	活用の効果	
C1	発表資料を全体で共有した状態で、発表する	<ul style="list-style-type: none"> 発表を聞きながら、コメント機能での即時フィードバックが可能となる 	高2 英語
	録画機能を用いて、グループのメンバーと一緒にプレゼンスピーチの録画を行う	<ul style="list-style-type: none"> 各自で自分のスピーチを確認し、改善点を見付け、よりよい表現に修正することができる グループのメンバーと表現が適切かを互いに確認することができる 	中3 英語
C2	スライドを用いて複数の意見を共有できるように工夫し、各自の意見を一覧で見ることができるようにする	<ul style="list-style-type: none"> 各自の意見を可視化することで他の意見や考えが一目で分かり、それによりグループでの話し合いが活性化し、意見整理等を容易に行うことができる 	中3 英語
C3	共同編集機能を用いて、グループのメンバーが同時に作業を行う	<ul style="list-style-type: none"> グループで役割分担し、各自が自分の割り当てられた部分を作成することができる 同時に内容や表現が適切かを互いに確認することができる 	高2 英語
C4	目的に合った交流の場（評価の場）を設定する	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を振り返り、達成感を得たり、改善点を見付けたりすることができる 	高2 英語

B1 (個に応じる学習) B2 (調査活動) B3 (思考を深める学習) B4 (表現・制作)

C1 (発表や話し合い) C2 (協働での意見整理) C3 (協働制作) C4 (遠隔地との交流)

8つの学習場面における10のポイントと効果